

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

マイクロンメモリジャパン株式会社 Fab15

(2) 事業所の所在地

広島県東広島市吉川工業団地7番10号

(3) 業種

集積回路製造業(2814)

(4) 事業所位置図 別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、令和2(2020)年度を基準年度とし、令和6(2024)年度～令和12(2030)年度の7年間とする。

3 計画の基本的な方向

マイクロンは低消費電力でより持続可能なデバイスの開発に注力しており、また並行してGHG排出量を削減し、事業におけるエネルギー効率を向上させるための取り組みも行っています。
当社は2022年初頭に気候変動対策の新たな目標を設定しました。事業活動(スコープ1)および購入エネルギー(スコープ2)からのGHG排出量を2050年までにネットゼロとする目標達成に向けて取り組んでいます。これらのコミットメントの一環として、パリ協定の目標を支える2030年のスコープ1排出削減の達成に向けたマイルストーンを目指しています。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	令和2（2020）年度	令和5（2023）年度
二酸化炭素	650,045	810,738

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	令和2（2020）年度	令和5（2023）年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	令和2（2020）年度	令和5（2023）年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス （ HFC PFC SF ₆ NF ₃ ）	792,331	343,077

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度 令和2（2020）年度	削減目標		目標年度 令和12（2030）年度
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂	650,045	27.7	179,897	470,148
非エネルギー起源CO ₂				
メタン				
一酸化二窒素				
その他 温室効果ガス	792,331	53.3	421,979	370,352
温室効果ガス 実排出量総計	1,442,376	41.7	601,876	840,500
温室効果ガス みなし排出量		-		
目標設定の考え方	当社としては、エネルギー起源CO ₂ （燃焼起因のメタン・一酸化二窒素含む）とその他温室効果ガス（熱伝導流体（HTF）・揮発性有機化合物（VOC）起因の排出量を含む）に関して、2020年度比で実排出量総計41.7%の削減を目標としている。			

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量(t-CO₂)、原単位置量(kg等)、削減率(%)

温室効果ガスの種類	基準年度 令和2（2020）年度			原単位 削減目標	目標年度 令和12（2030）年度		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂				#VALUE!			
非エネルギー起源CO ₂				#VALUE!			
メタン				#VALUE!			
一酸化二窒素				#VALUE!			
その他 温室効果ガス				#VALUE!			
総排出量				#VALUE!			
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	-	-		0.0	-	-	
目標設定の考え方							

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置及び目標並びに具体的な取組

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	エネルギー起源CO ₂	66%(2030年度目標)	購入エネルギーに占める非化石化比率の向上
2	エネルギー起源CO ₂	期待効果：原油換算1,467 kL/年	コンプレッサーコールドスタンバイ化による待機電力削減
3	エネルギー起源CO ₂	期待効果：原油換算1,269 kL/年	特高変圧器2台停止による待機電力削減
4	エネルギー起源CO ₂	期待効果：原油換算179 kL/年	工業用水有用利用によるポンプ及び冷凍機電力削減（2023年より継続中）
5	その他温室効果ガスの削減	対象機器に対して導入を推進中	PFC除去可能な除害装置導入（2021年より継続中）
6	その他温室効果ガスの削減	対象機器に対して移行を推進中	High GWP HTFからLow GWP HTFへの移行（2021年より継続中）

※ 「原単位」で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること。

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合 計 量
1		
2		
3		

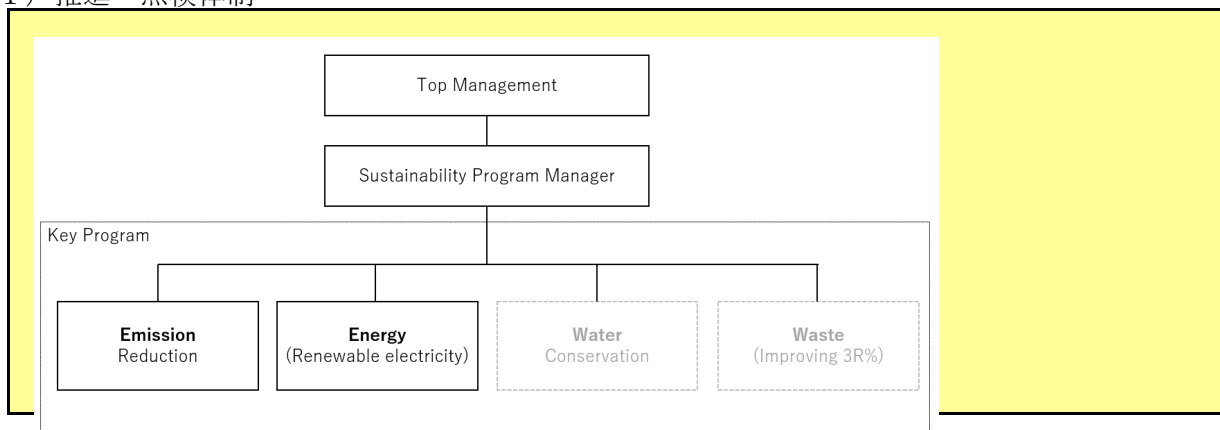
○ その他の取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

当社のSustainability Programに基づいて、環境目標の項目として推進しており、実績集計と達成状況は月単位でTop Managementによるレビューを行っている。

(3) 計画書等の公表

Micron GlobalとしてSustainability reportを公開している。